

2024 年 4 月 大学院商学研究科 修士課程入学試験問題 専門科目

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙および解答用紙に触れないこと。
2. 問題用紙および解答用紙はそれぞれ別の用紙になっている。
3. 9 題のうち 2 題を選択すること。
4. 少なくとも 1 題は、自分の志望する研究指導の分野に最も近いと判断される問題を選択すること。
5. 専門科目の答案は二次試験の参考資料とするので、それを踏まえて問題を選択すること。
6. **試験開始の合図後**、解答用紙左上の指定された□内に選択した問題番号を、所定の欄に受験番号、氏名を次の数字記入例にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。また、所定の欄以外に受験番号および氏名を記入しないこと。

【数字記入例】

正	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
誤	C	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
					4			7		9

7. 解答は、黒色または青色のインクのペンまたはボールペンを使用し、すべて解答用紙の所定の欄に**最大 1 0 0 0 字程度**（グラフまたは図を用いる場合の文字数は含めない）で書くこと。消しゴムで文字を消すことができるインクのペンまたはボールペンは使用しないこと。鉛筆書きは不可。
8. 解答用紙の裏面に記入してはならない。
9. 修正液または修正テープの使用は認める。
10. 筆記用具、修正液および修正テープは貸与しない。
11. 問題用紙および解答用紙は原則として取り替えない。
12. 解答は必ず 1 問につき 1 枚の解答用紙を使用すること

以 上

2024 年 4 月 大学院商学研究科
修士課程入学試験問題 専門科目

〔設問 1〕 経営専修 経営領域

以下のすべての問いに答えよ。

1. ファイブフォース分析において企業が属する業界に存在する競争要因である「既存の競合企業」と「供給者」について説明をせよ。そのうえで、それらの競争要因がどのような状態であれば、当該業界は既存企業にとって魅力的になりうるか、説明せよ。
2. 企業の有する経営資源・組織能力が持続的競争優位の源泉となりうる4つの条件を説明した上で、企業の組織文化が持続的競争優位の源泉となりうるか、企業の組織文化の定義と共に説明せよ。
3. 関連性の高い製品分野で複数の事業を行っている企業にとって適した組織構造は何か。その理由を説明せよ。

〔設問 2〕 マーケティング・国際ビジネス専修 マーケティング領域

以下のすべての設問に答えなさい。

1. アンゾフ (H. I. Ansoff) によって示された製品・市場マトリックスについて、図を用いて説明しなさい。
2. コミュニケーション・ミックスについて、その構成要素を 4 つ挙げて説明しなさい。
3. 競争地位別戦略について、具体例を挙げて説明しなさい。

【設問 3】 マーケティング・国際ビジネス専修 国際ビジネス領域

1. グローバル経営戦略論にはストラテジー・コンテンツとリソース・ベースト・ビューの 2 つの理論がある。各理論の主な内容とフレームワーク、またその類似点と違い、を説明しなさい。

【設問 4】 金融・保険専修 金融領域

CAPM に関する以下のすべての設問に答えなさい。解答だけでなく、その過程も含めて書くこと。

(1) 市場収益率が 8%、ある株式の個別収益率が 12% であった。この時のベータの値を答えなさい。ただし、それぞれの収益率は超過収益率である。

(2) 株式 A のベータが 0.4、株式 B のベータが 1.3 とする。株式 A が 60 万円、株式 B が 30 万円で取引されている。株式 A と B で構成されているポートフォリオのベータの値を答えなさい。ただし、株式 A を 1 単位 (60 万円)、株式 B を 1 単位 (30) 万円、それぞれ保有しており、全体の投資額は 90 万円である。

(3) 「CAPM では分散をリスクとして定義する。そのため、個別株式の収益率の分散が大きいほど、より高い収益率になる。」この文章の間違っている部分を指摘したうえで、どうして間違っているのかを説明しなさい。

(4) CAPM アノマリーと Fama-French スリーファクターモデルの関連について説明しなさい。

〔設問 5〕 金融・保険専修 保険領域

以下のすべての設問に答えなさい。

(1) 契約者の支払う保険料は、保険金の原資となる純保険料と、保険会社の事業費や利潤の原資となる付加保険料から構成される。このことを踏まえ、契約者から見た保険収支の期待値がマイナスであること、さらに、保険の効用がリスク回避にあることを説明せよ。

(2) 第一分野の代表的保険である、定期保険、終身保険および養老保険について、その特徴を概説せよ。さらに、保険金額と、保険料払込方法および払込期間を同一とした場合、この3種の保険の貯蓄性の高低はどのような順になるか、理由を付して説明せよ。

(3) リスクへの対応の手段は、リスクコントロールとリスクファイナンスに大別され、前者にはリスクの回避や損害制御などが、また後者にはリスクの移転と保有が含まれる。リスク対応手段としての保険がそのいずれに位置づけられか、またいかなる特性を有するかを、他の手段との対比を含めて説明せよ。

〔設問 6〕 会計専修 財務会計領域

以下のすべての設問に答えなさい。

1. 監査基準は多面的性格を有していると言われる。監査基準が持つ意義を列挙し、それぞれを簡潔に説明せよ。
2. 財務会計の持つ二つの機能を列挙し、それぞれにおいて会計がどのようにして情報の非対称性の低減に寄与しているのかを説明せよ。
3. (1) 会社法上の繰延資産とは何か説明し、これを資産に計上する理由を説明しなさい。
(2) 繰延資産を資産に計上すべきではないという考え方について、その論拠を説明しなさい。

〔設問 7〕 会計専修 管理会計領域

ある商品販売会社は、2021 年度の予算と決算の差異を分析することを目的として、表1を作成した。表1は、比較損益計算書にもとづいた、ある段階の利益の増減分析表の形式で作成している。表1に関連する各問のすべてについて、問の番号の順にしたがって解答しなさい。なお、解答は、それぞれ問の番号を明記したあとに記述すること。

表1 2021 年度(3)利益増減分析表 (単位:千円)				
	予 算	決 算	(3) 利 益	
			増 加	減 少
売 上 高	3,500	3,000		500
売 上 原 価	1,750	1,500	250	
(1) 利 益	1,750	1,500		
給 料	490	420	70	
支 払 家 賃	150	150		
広 告 費	230	200	30	
減 価 償 却 費	320	320		
商 品 配 送 料	140	120	20	
旅 費 交 通 費	30	70		40
商 品 保 管 費	80	60	20	
通 信 費	80	70	10	
水 道 光 熱 費	20	60		40
(2) 利 益	210	30		
受 取 利 息	10	30	20	
有 価 証 券 売 却 益	10	270	260	
支 払 利 息	20	90		70
(3) 利 益	210	240		
(3)利益の(4)				30
			680	680

問1 表1の中の(1)にあてはまる適切な用語を記述しなさい。

問2 表1の中の(2)にあてはまる適切な用語を記述しなさい。

問3 表1の中の(3)の全てにあてはまる適切な用語を記述しなさい。

問4 表1の中の(4)にあてはまる適切な用語を、「増加」または「減少」のうちから一つ選んで、記述しなさい。

問5 売上原価、給料、商品配送料のように、一定期間の操業度の増減に比例して、その金額が増減する費用の名称を記述しなさい。

問6 支払家賃、減価償却費のように、一定期間の操業度の増減に関係なく、一定額が発生する費用の名称を記述しなさい。

問7 予算と比較して、決算で「(3)利益」が増加した最も大きな要因である勘定科目を記述しなさい。また、その勘定科目の決算の金額が予算と比較して増加しているか減少しているかを記述しなさい。

問8 予算と比較して、決算で「(3)利益」が減少した最も大きな要因である勘定科目を記述しなさい。また、その勘定科目の決算の金額が予算と比較して増加しているか減少しているかを記述しなさい。

問9 予算における「(2)利益」の売上高に対する比率を計算し、パーセンテージで記述しなさい。

問10 予算における「(3)利益」の売上高に対する比率を計算し、パーセンテージで記述しなさい。

問11 決算における「(2)利益」の売上高に対する比率を計算し、パーセンテージで記述しなさい。

問12 決算における「(3)利益」の売上高に対する比率を計算し、パーセンテージで記述しなさい。

問13 「(2)利益」と「(3)利益」を区分して計算する理由を記述しなさい。

問14 予算と決算を比較すると、どちらの財務業績が望ましいと判断すべきか記述しなさい。また、その理由を記述しなさい。

問15 予算の旅費交通費および水道光熱費の金額は、決算と比較して半額以下に見積もられていた。この理由として推測できる従業員の働き方の変化を、2020 年以降のビジネス環境をふまえて、記述しなさい。

〔設問 8〕 理論・計量専修／公共政策・経済史専修 ミクロ経済学領域

以下のすべての設問に答えなさい。

1. 次の用語を全て説明しなさい。

(ア) 純粋公共財

(イ) 厚生経済学の基本定理

(ウ) コースの定理

2. 無数の同質な潜在的供給者が存在する市場を考える。各供給者は競争的である。各企業の生産量を X とするとき費用は関数 $2 + 2X + 0.5 X^2$ で与えられている。また価格を P 、需要量を D とするとき需要曲線は $D = 100 - 10P$ で与えられている。

(ア) 各供給者の供給関数を求めなさい。

(イ) 各供給者にとっての損益分岐点に対応する価格を計算しなさい。

(ウ) 短期的にはこの市場で操業する供給者の数は 10 で固定されている。このとき均衡における価格と市場全体の生産量を計算しなさい。

(エ) 上の均衡における消費者余剰と全供給者の得る利潤の合計を計算しなさい。

(オ) 各供給者の利潤が正であるとき、新たな供給者が参入することでこの市場の供給者数は増加し、逆に各供給者の利潤が負であるとき、一部の供給者が退出することで供給者数は減少すると考えられる。このとき長期的には、均衡における各供給者の利潤がゼロとなるように供給者数が調整されるだろう。このような長期の均衡における企業数、均衡価格、消費者余剰を計算しなさい。

〔設問 9〕 理論・計量専修／公共政策・経済史専修 マクロ経済学領域

以下のすべての設問に答えなさい。

1. 以下のすべてについて説明しなさい。
 - (ア) IS-LM モデルにおいて積極的財政政策がもたらすクラウディングアウト
 - (イ) 景気動向指数とそのデフュージョンインデックス(DI)の計算方法
 - (ウ) リカードの等価定理

2. ライフサイクル仮説による消費関数の理論について考える。各家計は 100 年の寿命を持ち、20 歳から 60 歳までは 1 年あたり 10 の労働所得を得るが、それ以外の時期における労働所得はゼロである。生まれたときに与えられる資産はゼロ、利子率もゼロとする。人々は生涯の予算制約の下で消費水準を一定に保つように消費計画を立てるものとする。また生涯を通じた消費総額が所得総額を上回らない限り、人々は自由に借入れを行うことが可能である。
 - (ア) 各個人の 1 年あたりの消費額はいくらか。
 - (イ) 各個人の資産保有額がゼロになる年齢(0 歳、100 歳以外で)を求めなさい。ただし「年齢」は 0 と 100 の間の任意の実数の値をとるものとする。
 - (ウ) 各年齢層の人口が 1 で一定であるとき、経済全体としての貯蓄率(総貯蓄額／総所得額)を求めなさい。ただし資産を取り崩す行為は負の貯蓄と考える。
 - (エ) 上の問において、経済全体の純資産総額を計算しなさい。
 - (オ) 少子化により人口の年齢構成が変化し、100 歳人口は 1 で変わらないものの、より若い年齢層の人口は 1 より小さくなったとしよう。たとえば年齢 t の人口は $1 - 0.005(100 - t)$ で与えられるようになったとする。このとき経済全体としての貯蓄総額と所得総額を求め、貯蓄率を計算しなさい。



受験番号	
氏名	

For more information, please contact the publisher at 0000-0000-0000-0000 or 0000-0000-0000-0000. The publisher is not responsible for any errors or for any consequences arising from the use of the information contained in this journal. The publisher is not responsible for any damages or losses, including lost profits, arising from the use of the information contained in this journal. The publisher is not responsible for any damages or losses, including lost profits, arising from the use of the information contained in this journal.

This image shows a blank sheet of white paper with faint, evenly spaced horizontal ruling lines. The lines are light gray or blue, typical of standard notebook paper. There are no margins, text, or other markings on the page.

受験番号	
氏名	

(問題番号)

Sl. No.	Name of the Candidate	Roll No.	Grade	Subject	Score	Remarks
1	ABHIRAM K	101	10	Maths	85	
2	ADARSH K	102	10	Maths	78	
3	ADITHYAN K	103	10	Maths	92	
4	ADITHYAN K	104	10	Maths	88	
5	ADITHYAN K	105	10	Maths	75	
6	ADITHYAN K	106	10	Maths	82	
7	ADITHYAN K	107	10	Maths	79	
8	ADITHYAN K	108	10	Maths	86	
9	ADITHYAN K	109	10	Maths	81	
10	ADITHYAN K	110	10	Maths	84	
11	ADITHYAN K	111	10	Maths	87	
12	ADITHYAN K	112	10	Maths	83	
13	ADITHYAN K	113	10	Maths	80	
14	ADITHYAN K	114	10	Maths	89	
15	ADITHYAN K	115	10	Maths	86	
16	ADITHYAN K	116	10	Maths	82	
17	ADITHYAN K	117	10	Maths	85	
18	ADITHYAN K	118	10	Maths	81	
19	ADITHYAN K	119	10	Maths	84	
20	ADITHYAN K	120	10	Maths	87	
21	ADITHYAN K	121	10	Maths	83	
22	ADITHYAN K	122	10	Maths	80	
23	ADITHYAN K	123	10	Maths	89	
24	ADITHYAN K	124	10	Maths	86	
25	ADITHYAN K	125	10	Maths	82	
26	ADITHYAN K	126	10	Maths	85	
27	ADITHYAN K	127	10	Maths	81	
28	ADITHYAN K	128	10	Maths	84	
29	ADITHYAN K	129	10	Maths	87	
30	ADITHYAN K	130	10	Maths	83	
31	ADITHYAN K	131	10	Maths	80	
32	ADITHYAN K	132	10	Maths	89	
33	ADITHYAN K	133	10	Maths	86	
34	ADITHYAN K	134	10	Maths	82	
35	ADITHYAN K	135	10	Maths	85	
36	ADITHYAN K	136	10	Maths	81	
37	ADITHYAN K	137	10	Maths	84	
38	ADITHYAN K	138	10	Maths	87	
39	ADITHYAN K	139	10	Maths	83	
40	ADITHYAN K	140	10	Maths	80	
41	ADITHYAN K	141	10	Maths	89	
42	ADITHYAN K	142	10	Maths	86	
43	ADITHYAN K	143	10	Maths	82	
44	ADITHYAN K	144	10	Maths	85	
45	ADITHYAN K	145	10	Maths	81	
46	ADITHYAN K	146	10	Maths	84	
47	ADITHYAN K	147	10	Maths	87	
48	ADITHYAN K	148	10	Maths	83	
49	ADITHYAN K	149	10	Maths	80	
50	ADITHYAN K	150	10	Maths	89	
51	ADITHYAN K	151	10	Maths	86	
52	ADITHYAN K	152	10	Maths	82	
53	ADITHYAN K	153	10	Maths	85	
54	ADITHYAN K	154	10	Maths	81	
55	ADITHYAN K	155	10	Maths	84	
56	ADITHYAN K	156	10	Maths	87	
57	ADITHYAN K	157	10	Maths	83	
58	ADITHYAN K	158	10	Maths	80	
59	ADITHYAN K	159	10	Maths	89	
60	ADITHYAN K	160	10	Maths	86	
61	ADITHYAN K	161	10	Maths	82	
62	ADITHYAN K	162	10	Maths	85	
63	ADITHYAN K	163	10	Maths	81	
64	ADITHYAN K	164	10	Maths	84	
65	ADITHYAN K	165	10	Maths	87	
66	ADITHYAN K	166	10	Maths	83	
67	ADITHYAN K	167	10	Maths	80	
68	ADITHYAN K	168	10	Maths	89	
69	ADITHYAN K	169	10	Maths	86	
70	ADITHYAN K	170	10	Maths	82	
71	ADITHYAN K	171	10	Maths	85	
72	ADITHYAN K	172	10	Maths	81	
73	ADITHYAN K	173	10	Maths	84	
74	ADITHYAN K	174	10	Maths	87	
75	ADITHYAN K	17				